

SINAP Journal

東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げると共に被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
シナップ一同

Think and Action

今わたしたちができること——

例年、弊社からの夏のご挨拶として開催させて頂いておりました「SINAP Summer Project」ですが今年は震災復興支援活動に注力するため中止致しました。代わりに活動レポートをみなさまにお届けいたします。

震災から半年あまりがたち、首都圏はだいぶ落ち着きを取り戻して参りました。
しかし、被災地の復興、原発問題と電力不足、経済停滞など、喫緊の課題も山積しています。3.11 から毎日のように報道される重苦しいニュースに、私たちの気持ちもつい沈みがちでした。
でもそんな中、たくさんの方々が、被災された方々のために、支援の輪を広げ協力して困難に立ち向かっていきます。
その姿は、私たちに励まし勇気づけてくれるだけでなく「自分達にできることはなんだろう」と考えるよい機会を与えてくれました。

震災直後から、それぞれが出来る範囲の支援を行いながらも、会社としてもっと大きな貢献が出来ないか? 寄付だけでなく、個別にボランティアをするだけでなく「シナップが被災者の方々の為に最も貢献できることはなんだろう?」スタッフの間でさまざまなアイデアを出しあってきました。結果、私たちが最も高い価値を提供出来る本業である、Web・ITを活用したコミュニケーション作りの分野で被災された企業の復興を継続的にお手伝いし、売上を伸ばし、雇用を増やし、地域経済を回していくことが地域復興への一番の貢献になると考えました。

シナップでは、社会貢献プロジェクトの一環として、被災企業・団体の Web・IT・マーケティングなどの支援を無償で行っています。被災してお困りの企業・団体などをご存じの方は、ぜひ私たちに紹介ください。

現在、プロジェクト第一弾として、この震災で深刻な被害を受けた岩手県陸前高田市にある酒造メーカー「酔仙酒造株式会社」様の復興をお手伝いしています。

例年シナップでは夏企画として様々なお楽しみコンテンツを企画してまいりましたが、今年はこの復興プロジェクトのご報告を含め、日頃の活動をお届けする事でかえさせていただきます。

一日も早い復興をめざす一員として、微力ながら勇往邁進して参ります。

代表取締役社長
坂西 裕彰

Think and Action

シナップの復興支援プロジェクト

東日本大震災による津波で甚大な被害を受けた
岩手県陸前高田市の老舗酒造会社「酔仙酒造」が復興への一歩を踏み出す。

シナップでは震災復興支援プロジェクトとして、
酔仙酒造の復興の道りを多くの方へ伝え支援するウェブサイトの制作、運用面で支援をはじめました。



酔仙の酒
「芳醇にして飲み飽きしない酒」所謂、矛盾の追求を酒造りの永遠のテーマとしている酔仙酒造



酔仙酒造が建っていたエリアの震災後の様子。

Think and Action

酔仙酒造の震災から今

老舗酒造会社の壊滅

岩手県陸前高田市の老舗酒造会社「酔仙酒造」。震災のあった3月11日は前年から仕込んだ酒の出荷前の行事として、杜氏（とうじ）らをねぎらう「甑倒（こしきだおし）」を午後4時から始める予定だった。

酔仙酒造は陸前高田市と大船渡市の造り酒屋8軒が一つになって1944年に始まった。気仙川の伏流水を源泉に「酔仙」を主力の銘柄として2007、08年、全国新酒鑑評会で金賞を受賞。県内以外にも北海道や首都圏、中国地方にも販路を見出し、日本酒だけで年間約100万リットルを出荷している。

午後2時46分、突然激しい揺れに襲われた。非常に長い揺れが続き、金野社長は「その間建物が持ちこたえられるかどうか、早く揺れが治まってほしい」という気持ちでいっぱいだったという。揺れが治まった直後、構内に居た従業員は一旦広場へ集められ、「解散指示」のもと避難や帰宅を始めた。市内の防災無線から流れていた避難指示は、始めは落ち着いた口調であったが徐々に緊張感を増していき、最後は悲鳴のような叫び声に変わっていた。その声に誰もが「ただならぬ状況」であることを認識した。直後、想像を遙かに超える大津波が酔仙酒造敷地内に到達し、大量の瓦礫の塊が水しぶきとともに押し寄せて来た。酔仙酒造

は木造4階建ての倉庫を含む全ての建物が150本のタンクもろとも水面下に沈み、壊滅・流失した。社員と役員計約60人のうち4人が亡くなり、3人が行方不明となった。

「技術と心は残っている」

3月16日、金野靖彦社長は地震後初めて変わり果てた会社の敷地を訪れた。瓦礫の山と化した酔仙酒造跡地を目の当たりにし、復興へのわずかな望みが絶たれようとしていた。まさにその瞬間であった、仕込み蔵の上まで打ち寄せられた瓦礫の山の中、空に向かって突き出た鉄骨の先にぶら下がった「酔仙」の酒樽を発見した。涙をこらえられなかった。「津波で全てを失ったにも関わらず、この偶然引かかった酒樽が『酔仙ここにいるよ!』と頑張っているようで、見えない力が酔仙の「復興」に向けて背中を押しているようだった」と金野社長は語る。「このままでは終われない」酔仙酒造は復興への一歩を踏み出した。

現在は壊滅した陸前高田市から一関市の「千厩・玉の春営業所」に拠点を移し、10月1日の「雪っこ」発売を目指して醸造準備を行っている。ある新聞のインタビューで金野社長は語った。「酔仙酒造の形あるものは何もなくなったが、酒造りの技術と心は残っている。」酔仙酒造は復興への道のりを着実に歩き出した。

津波直後の陸前高田市の様子。



瓦礫の山から突き出した鉄骨にぶら下がっていた、酔仙の樽。

SINAPの取り組み

SINAPでは3月11日以後、SINAPとして取り組める被災地貢献・震災復興支援活動についてスタッフの間で多くの話し合いがもうけられた。中でも全員で確認しあったのは「時間の経過と共に徐々に世の中の支援活動への熱量が失われていく中、実際には

数年にも及ぶと言われている被災地の生活や経済の復興への道のりに継続的に貢献できるような、長期的な視点にたった活動をしよう」という事だった。そして様々な貢献のアイデアが出される中で、今回の岩手県の老舗酒造会社、酔仙酒造の深刻な被災報道を耳にした。そんな折り、偶然にもSINAPスタッフの親戚の方と繋がりがあった

ことから、なにか自分達にできることはないかと申し出、今回の復興支援プロジェクトのひとつとして立ち上がった。

コミュニケーションで貢献

以来、実際に隔週で陸前高田へ赴き、金野社長と打合せを重ねながら復興への道を模索。酔仙酒造が本業の酒造りで復旧を進める中、SINAPでは酔仙酒造の復興の道のりを多くの方へ伝え支援するウェブサイトの制作、運用面を中心にコミュニケーションをサポートすることになった。震災で絶たれた酔仙酒造と顧客との接点回復の一助になることを願って。9月、酔仙酒造の今を伝えるサイトがオープンした。このサイトでは今後、酔仙酒造が挑む復興の姿や、多くのファンが心待ちにしているお酒の醸造状況、酔仙酒造からのメッセージなどをレポートし、応援していく。

本プロジェクトでは全社員が被災地を理解して取り組めるよう酔仙酒造及び被災地を訪問して臨んでいる。

プロジェクトは下記のサイトで

<http://suisenshuzo.jp/>

STAFF VOICE

「被災された方々の前を向き復興に向けて進んでいる姿を拝見し、逆に私たちが勇気づけられ元気を頂いています。大きな力はありませんが、細やかで息の長いご支援を続けていきたいと思っています。」

坂西 裕彰

代表取締役／プロデューサー
Web業界初期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が目印。



「現地を訪れた際、震災の被害もさることながら、そこで暮らす方々の復興への意思に強く共感しました。その思いを忘れず、深く胸に刻んで、プロジェクトに取り組んでいけたらと思います。」

大川 貴裕

取締役／クリエイティブディレクター
多くのWebサイトをはじめ、企業のブランドデザイン、CI/VI開発、グラフィックデザインなど幅広い分野で活躍している。国際的なデザインコンペティションの日本人初受賞者、受賞多数。生粋のハマっ子。

「私がどんなに想像しても経験には届きません。でも、経験した方から直接何うお話が私を引き寄せてくれました。小さな少しずつの積み重ねで、想いを遂げられるように。私自身の目的になりました。」

小茅 奈美

デザイナー
テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てSINAP設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からSINAPを支える。



「揺れのなか『満中』にいます。でもすぐに満の中心は遠いと知る。仙台で親戚を見舞い女川を訪ねた。今、陸前高田にいる。距離は想像より近く、体験は想像を超えて遠い。想いで近づきたい。」

松島 智

UI/UXデザイナー
コミュニケーションとデザインの研究で大学院を修了後、SINAPに入社。「人に使われるためのデザイン」を命題に、特に言葉の読み心地に注力する。本年、東京TDC賞RGB部門入賞。歌うのが好き。

「陸前高田の被害の大きさにはもちろん驚いたが、そこに住む方たちが力強く復興へ向かっていることが衝撃だった。どうかこの人たちが仕事をし復興の喜びを分かち合いたい。そう強く思う。」

柿内 暢昌

フロントエンドエキスパート
バリ十三大学ビジュアルコミュニケーション専攻卒業。現地制作会社でインターンの後、SINAPへ入社。FlashをはじめシステムやHTML5にも精通している。共著「インターネット&Webの必須常識100」。趣味は料理。



「あの日あの時間、なに不自由なく家にいた私のその一方で、想像なんてまるでできないことが起こってしまいました。今、私が暮らしていると思込んでいた方々はもう、顔を上げて歩き出しています。」

守谷 絵美

デザイナー
大学でビジュアルデザインを専攻。卒業後、デザイナーとして制作会社数社を経てSINAPへ入社。CSS Nite 登壇、Web 専門書籍やコンテストへのデザイン提供など多岐にわたり活躍中。SNSへの傾倒ぶりは誰もが認める。

「津波被害があったであろう宮城から青森の海沿いを車で旅をしたことがあります。東北の素朴な空気がとても好きなので、復興に向けて頑張っている方々に少しでも貢献できたいと思っています。」

鈴木 善明

ディレクター
イベント会社を退職後、Webの専門教育を受け、SINAPのディレクターに。同時に複数案件の陣頭に立ちつつユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作はか関心事への熱中ぶりには周囲も楽しくなる。猫好き。



「私たちの支援がその人の力となり、その人の力が誰かの力となり、その誰かの力がそのまた誰かの力になって、1秒でも早く復興し、1人でも多くの人の心の痛みが和らげばと願っています。」

内藤 万弓

ディレクター
イギリスの大学院に留学、帰国後SINAPへ入社。ICT関連業務は入社までは未経験でありながら、いまや常に複数の新規案件を担当する重要なディレクター。クールに見えて絶妙なユーモアにあふれた才女。

「東北の方が辛い日々を乗り越えて、少しでも優しい気持ちになれるように、平穏な日々を取り戻せるように「私たちにできること」「私たちがすべきこと」に全力で取り組みたいと思います。」

野原 由貴

アシスタントデザイナー
実務経験は浅くとも広範なスキルを持ち、デザインも実装もこなす頼れる存在。のんびりした印象の内にシャープな実務能力を秘める。酔仙酒造との縁をつないだ今年のキーパーソン。



「この大災害が起きたという確かな事実を、私たちは千年先の未来に伝えていかねばならない。そしてこの時代に、故郷で受け継がれてきた一杯の酒を変わず造り続けるために闘う人たちがいることを。」

岩寺 知穂

総務・秘書
広告代理店の営業、テレビ局の音声、大学事務、アウトドアショップのECサイト運営を経て、今夏入社。Webを含む多彩な経験でSINAPの日常を支える。故郷札幌と音楽を愛するスリムな食いつん坊。

歴代のSINAP SUMMERをプレイバック

SINAP SUMMER PROJECTは株式会社シナップが毎年夏に行っている自社プロジェクトです。

夏をテーマにしたこのプロジェクトでは、日頃お世話になっているみなさまやパートナーのみなさまへサマーカードをお送りし、カードと連動したちょっぴり面白いコンテンツを公開しています。さまざまなアイデアにチャレンジする場として活用するとともに、エコなメッセージを世の中に発信し、日本の夏をすこしでも涼しく、私たちをとりまく環境をよりよくすることを目的に活動しています。

残念ながら今年はまだみなさまへお届けできなかったSINAP SUMMERですが、歴代のプロジェクトをご覧いただき、はじめての方もSINAP SUMMERファンの方も、暑い夏を涼しくしてきた(!?)SINAPのユーモアセンスを垣間見ていただければ幸いです。

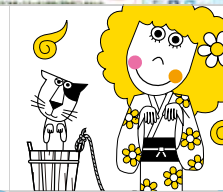
日本!スイカ道 THE MOVIE ~しかも信じられない割り方で (2010年)

忍者からメイド、さらには象まで!各方面のプロフェッショナルな方々に夏の暑さを吹き飛ばす驚きのスイカ割りを行っていただき、その映像を特設サイトで大公開しています。



番長皿屋敷 (2008年)

怪談で有名な「番町皿屋敷」SINAP版をお届けする夏のスペシャルコンテンツ。SINAP版ではサイト上でエンディングを募集し、お菊さんの運命をみなさまの投票に委ねました。(現在投票は終了しております。)



海でもイツとく? (2006年)

記念すべき第一弾はモテリマンでおなじみの人気イラストレーター Shu-Thang Grafixさんとのコラボレーション企画。シュールなイラストにシュールなギャグ。日本の夏をサムくしました!

砂で作ったQRコードは読めるのか? ビーチに描く、巨大QRコード (2009年)

総再生回数、4万回を突破!海外からも取材が来る大ヒット作品です。「砂で作ったQRコードは読めるのだろうか?」スタッフのなにげないひと言から始まったこの企画。舞台は夏の湘南、江ノ島片瀬海岸。照りつける太陽の下、実験は果たして成功したのでしょうか。ぜひ、あなたの携帯でお試ください!

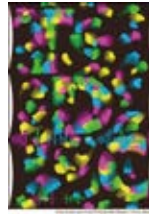


シ夏ブ (2007年)

「クールなサマーツアーに、あなたをご招待!」旅をテーマにした夏のスペシャルコンテンツ。PCとモバイル果てはYouTubeまで、オリジナル映像をふんだんに使った連動企画を行いました。

ぜひアクセスしてお楽しみください

<http://summer.sinap.jp/>



TDC展 2011

会場：ギンザ・グラフィック・ギャラリー
会期：2011年4月1日(金)～4月25日(月)
住所：東京都中央区銀座7-7-2
DNP 銀座ビル / tel.03-3571-5206
日曜・祝祭日休館
入場無料
*こちらの展覧会は終了いたしました。
ご来場いただきまして、ありがとうございました。

東京 TDC RGB 部門入賞

毎年優秀なタイポグラフィ、タイプディレクションを表彰する賞「東京TDC賞」のRGB部門にてシナップ制作の「最前線：小説ビューア」が入賞いたしました。「東京TDC賞」は東京タイポディレクターズクラブが主催する、タイポグラフィ、タイプディレクション、タイプデザインを表彰する国際的なコンペティションです。その中で「最前線：小説ビューア」はこのコンペティションのRGB部門にて、入賞作品として選出されました。



スマートフォン

iPhoneだけでなく、今年はAndroidも本格的な普及期を迎えて、フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行はすごい勢いで進んでいます。スマートフォンだけが持つジャイロやGPSといった多くのセンサー技術と高機能な端末を、いつも持ち歩く事による利用シーンの拡大はPCとは違ったあたらしいコミュニケーションを創り出す可能性を多分に秘めています。



ソーシャルメディア

ソーシャルメディアをうまく活用することで、プロモーション効果を高めたり消費者との深いコミュニケーションを行う場を作るなど、企画・開発・製造・販売・サポートといったビジネスサイクルの全てのフェーズで活用していくことができます。また、ソーシャルメディアを企業が運用する際のリスクや、必要な運用体制、社内コンセンサス作りなどへのお手伝いも行っておりますので、ソーシャルメディアでお困りの際はぜひお声がけください。



EPUB/電子書籍

縦書き、ルビ、禁則、見開き表示に対応した新しい電子書籍の標準フォーマットであるEPUB3.0が今年5月に発表され日本語に対応した美しい電子書籍の制作が可能になりました。シナップでは、EPUBファイルの作成、EPUBビューワー開発に積極的に取り組んでおります。電子書籍として配布したい書籍やパンフレットなどお持ちの方は、ぜひご相談ください。



HTML5+CSS3+JavaScript

シナップはWebサイトを構築する為の次世代規格であるHTML5に早くから取り組んでおり、多くのプロジェクトを経験しています。プラグイン不要で、オーディオやビデオのコントロールと図形描画が出来たり、WebアプリケーションのUIをよりいっそう便利に作り替えたり、今までは難しいとされていた機能や表現の実装が可能です。

シナップ一同、引き続き、私たちの出来る支援活動を続けて参ります。お仕事のご相談はもちろん、被災地の支援先のご紹介、飲み会・イベントへのお誘いなどお待ちしておりますのでスタッフや、以下のご連絡先までどしどしお寄せください！

E-Mail : info@sinap.jp Twitter : [@sinapinc](https://twitter.com/sinapinc) Facebook : <http://www.facebook.com/sinapinc>

<http://sinap.jp/>